

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第47週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (47 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：梅毒 4 例、播種性クリプトコックス症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	90歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	0~4歳	女	無症状病原体保有者	なし、O157(VT1)
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
		都城	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日向	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	80歳代	男	—	意識障害、痙攣、項部硬直

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 886 人(定点当たり 25.4)で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は 159 人(2.7)で、前週比 137%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 1.8 倍であった。延岡(7.6)、中央(3.5)、都城(2.9)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

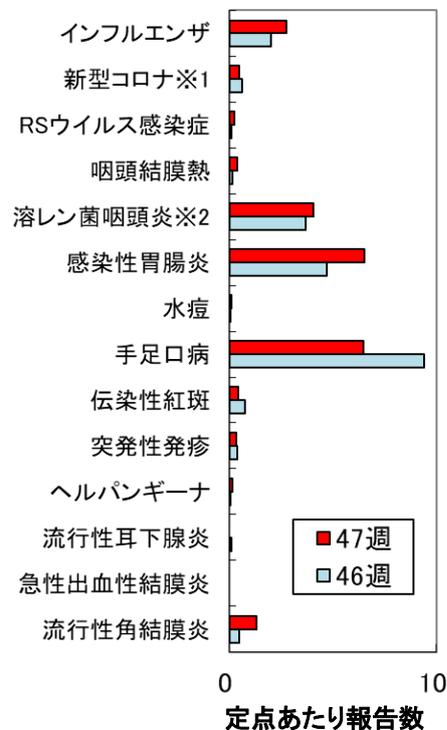
報告数は 29 人(0.5)で、前週比 83%と減少した。高千穂(1.5)、延岡(1.3)、日向(0.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 10 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 235 人(6.5)で、前週比 138%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(11.5)の約 0.6 倍であった。中央(19.0)、日南(15.7)、延岡(9.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 6 歳が全体の約 8 割を占めた。

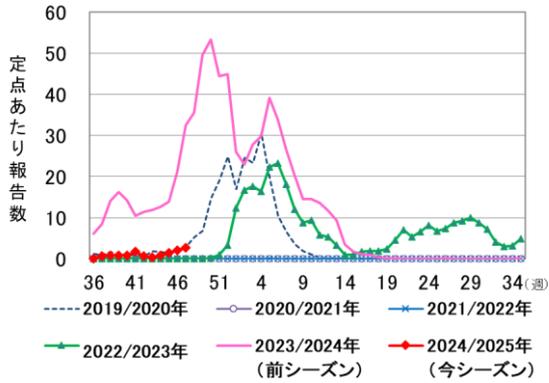
* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

《前週との比較》

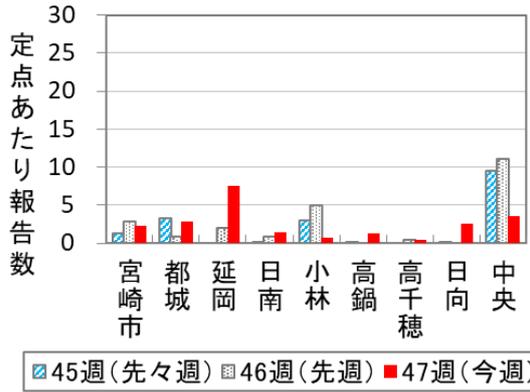


※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

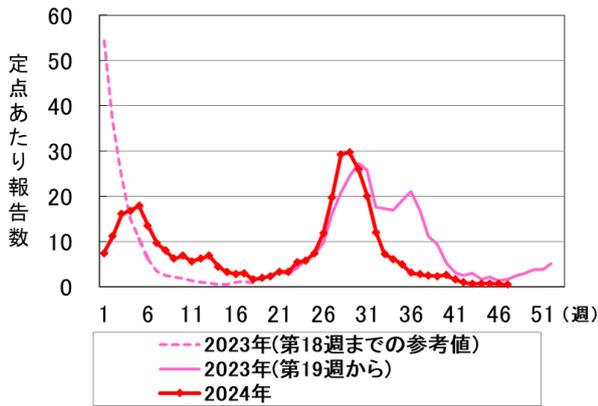
インフルエンザ 発生状況



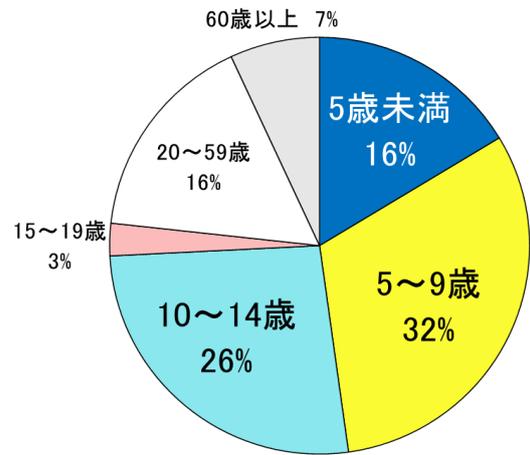
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症 発生状況

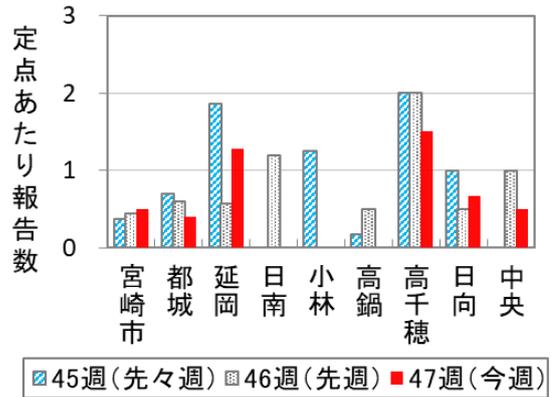


インフルエンザ年齢群別グラフ(第47週)

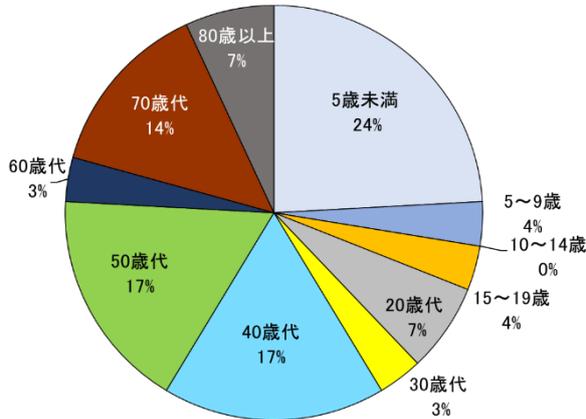


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

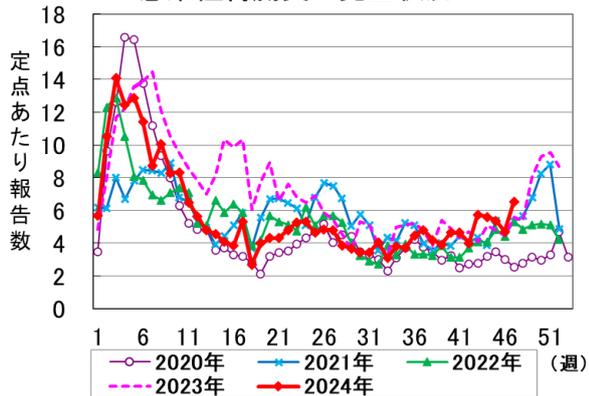
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



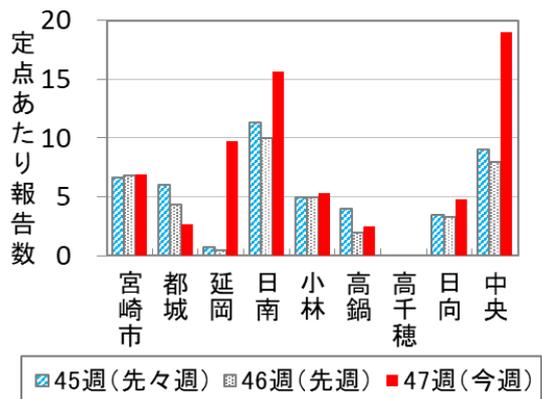
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第47週)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎:報告数は14例(定点当たり2.0)で、前週比約0.9倍と減少した。宮崎市(6例)、日向(6例)、高鍋(2例)保健所から報告があった。年齢は5~9歳が6例、10~14歳が6例、0~4歳が2例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(8.6)
都城	なし
延岡	手足口病(9.5)、伝染性紅斑(3.0)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(12.7)
小林	手足口病(9.3)
高鍋	手足口病(5.5)
高千穂	手足口病(6.0)
日向	手足口病(6.0)
中央	なし

流行警報レベル開始基準値

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 令和6年11月25日までに検出)

★細菌 報告なし

★ウイルス 報告なし

🇯🇵 全国2024年第46週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	333例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	89例				
4類感染症	E型肝炎	10例	A型肝炎	2例	コクシジオイデス症	1例
	重症熱性血小板減少症候群	2例	チクングニア熱	2例	つつが虫病	26例
	デング熱	4例	日本紅斑熱	11例	日本脳炎	1例
	マラリア	1例	レジオネラ症	59例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	39例
	急性弛緩性麻痺	2例	急性脳炎	11例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	19例	後天性免疫不全症候群	11例	ジアルジア症	1例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	55例
	水痘(入院例)	6例	梅毒	204例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例
	百日咳	144例	麻しん	2例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比110%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は9,309人(1.9)で前週比177%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.0)の約2倍であった。沖縄県(5.0)、福岡県(3.5)、山形県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約6割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は9,406人(1.9)で前週比129%と増加した。秋田県(6.3)、岩手県(5.6)、北海道(4.8)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約4割を占めた。

手足口病の報告数は13,079人(4.2)で前週比73%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.9)の約4.8倍であった。宮崎県(9.4)、鹿児島県(8.9)、岩手県(8.2)からの報告が多く、年齢群別では1歳から5歳が全体の約7割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は1,363人(2.8)で前週比117%と増加した。福井県(8.8)、青森県(5.0)、茨城県(4.9)からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は2.3であった。全国の年齢群別では15歳未満が全体の約8割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第47週(11月18日～11月24日)

疾病名		第46週	第47週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	116	159	36	29	53	7	3	8	1	15	7
	定点当り	2.00	2.74	2.25	2.90	7.57	1.40	0.75	1.33	0.50	2.50	3.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	35	29	8	4	9				3	4	1
	定点当り	0.60	0.50	0.50	0.40	1.29	0.00	0.00	0.00	1.50	0.67	0.50
RSウイルス感染症	報告数	4	9		1				7	1		
	定点当り	0.11	0.25	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	1.75	1.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	6	14	4	1	3					6	
	定点当り	0.17	0.39	0.40	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	132	146	62	7	19	38	1	12		6	1
	定点当り	3.67	4.06	6.20	1.17	4.75	12.67	0.33	3.00	0.00	1.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	170	235	69	16	39	47	16	10		19	19
	定点当り	4.72	6.53	6.90	2.67	9.75	15.67	5.33	2.50	0.00	4.75	19.00
水痘	報告数	2	4	1					3			
	定点当り	0.06	0.11	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	338	234	86	25	38	3	28	22	6	24	2
	定点当り	9.39	6.50	8.60	4.17	9.50	1.00	9.33	5.50	6.00	6.00	2.00
伝染性紅斑	報告数	27	15	2	1	12						
	定点当り	0.75	0.42	0.20	0.17	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	13	3	4	4			1		1	
	定点当り	0.39	0.36	0.30	0.67	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	6	1		3	2					
	定点当り	0.03	0.17	0.10	0.00	0.75	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4										
	定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	8		7	1						
	定点当り	0.50	1.33	0.00	3.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	16	14	6					2		6	
	定点当り	2.29	2.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00		6.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～47週 保健所受理分)

2類感染症	結核	102例(1)				
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	41例(1)			
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	8例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	15例	レジオネラ症	16例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	15例	水痘(入院例)	5例
	梅毒	142例(4)	播種性クリプトコックス症	5例(1)	破傷風	2例
	百日咳	50例				

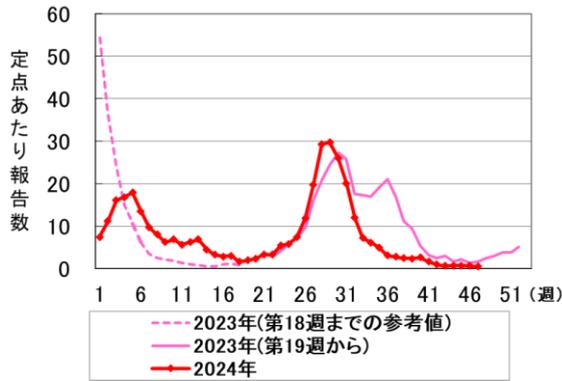
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第47週、全国第46週（再掲）》

□ 県内第47週 新型コロナウイルス感染症発生動向

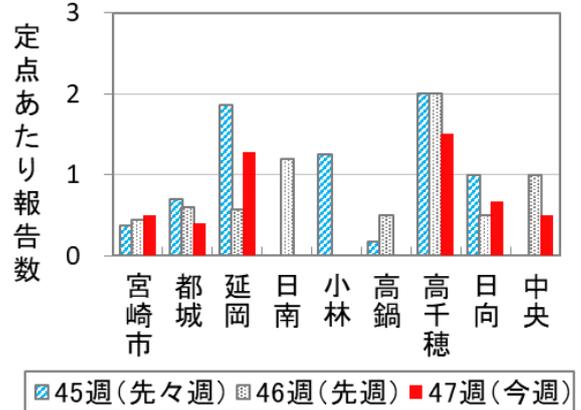
11月18日～11月24日までの1週間で29人(0.5)の報告があり、前週比83%と減少した。高千穂(1.5)、延岡(1.3)、日向(0.7)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

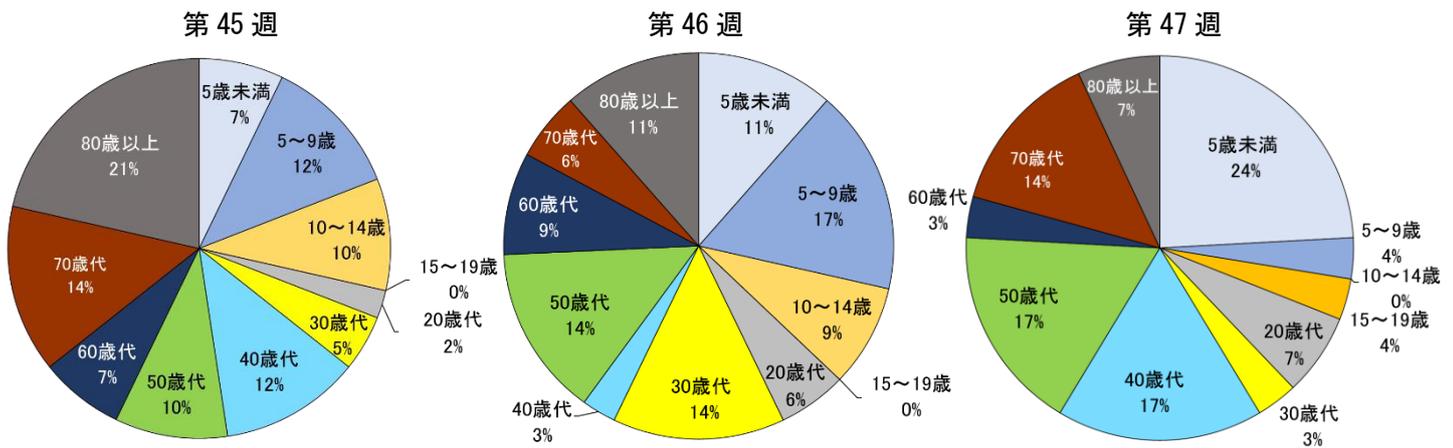


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

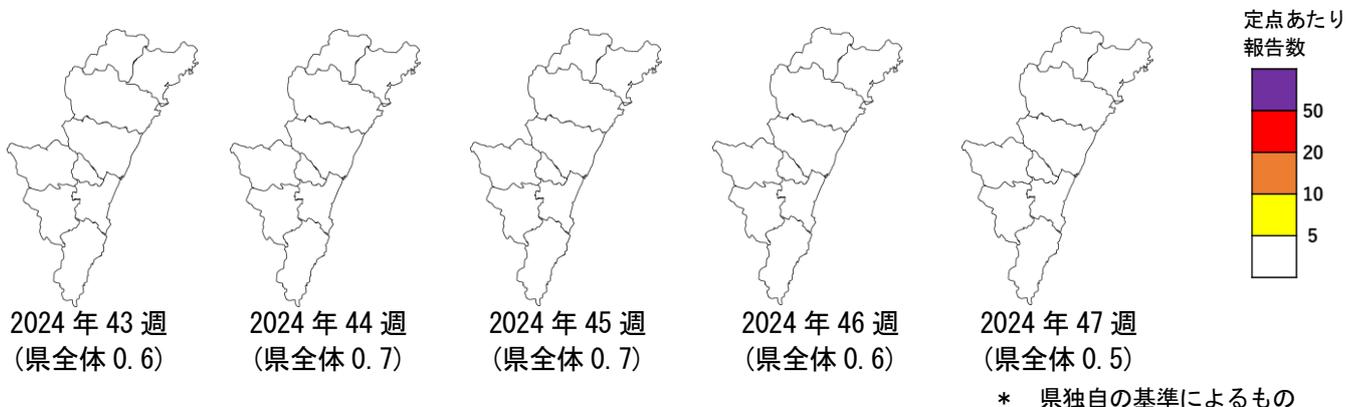
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第43週～2024年第47週



□ 全国第46週 新型コロナウイルス感染症発生動向

11月11日～11月17日までの1週間で9,406人(1.9)の報告があり、前週比129%と増加した。秋田県(6.3)、岩手県(5.6)、北海道(4.8)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約4割を占めた。